


京都府オリンピック・パラリンピック教育 推進事業の概要

Vol.5

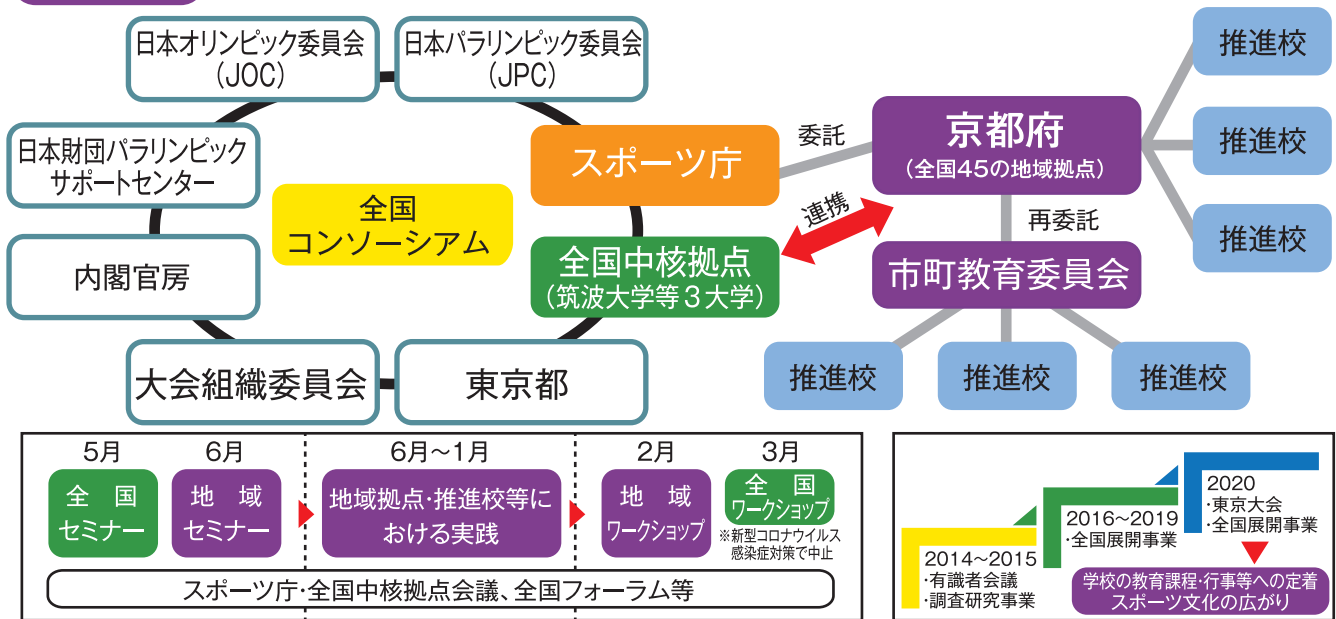


スポーツ庁委託
オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業

 京都府教育委員会

令和元年度、京都府教育委員会はスポーツ庁からの委託を受け、平成27年度からの取組で得た知見をもとに、より発展したオリンピック・パラリンピック教育の普及・推進に取り組みました。

事業の枠組



スポーツの価値

- ◆スポーツは、精神的な充足感や楽しさ・喜びをもたらし、人々が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営む基盤である。
- ◆スポーツには、自己充実・自己変革を促す力、社会や世界を変える大きな力がある。

オリンピック・パラリンピック教育の理念

オリンピックの価値

〈国際オリンピック委員会 (IOC) 〉

1. 「Excellence (卓越)」
2. 「Friendship (友情)」
3. 「Respect (敬意・尊重)」

パラリンピックの価値

〈国際パラリンピック委員会 (IPC) 〉

1. 「Courage (勇気)」
2. 「Determination (決意)」
3. 「Equality (平等)」
4. 「Inspiration (インスピレーション・鼓舞)」

オリンピック・パラリンピック教育の意義

スポーツの価値の再認識を通じ、国際的な視野を持って世界の平和に活躍できる人材を育成する

オリンピック・パラリンピック教育に関する有識者会議より

府内全域への展開状況



オリンピックによる実技指導 (中学校)



地元の小学生と高校生の交流 (小学校・高校)



東京都の郷土料理を取り入れたオリンピック・パラリンピック給食 (小学校)



ワクワケスリング教室 (高校)



オリンピック・パラリンピック情報掲示板 (小学校)



フロアバレーボールでの交流 (中学校・特別支援学校高等部)

令和元年度 推進校 (55校)

◆小学校(10校)

城陽市立古川小学校
 城陽市立久津川小学校
 城陽市立寺田小学校
 城陽市立青谷小学校
 京田辺市立新小学校
 木津川市立相楽小学校
 木津川市立木津川台小学校
 木津川市立上粕小学校
 井手町立井手小学校
 井手町立多賀小学校

◆高等学校(24校)

京都府立鴨沂高等学校
 京都府立洛北高等学校
 京都府立鳥羽高等学校
 京都府立北嵯峨高等学校
 京都府立北桑田高等学校
 京都府立桃山高等学校
 京都府立東稜高等学校
 京都府立洛水高等学校
 京都府立乙訓高等学校
 京都府立西乙訓高等学校
 京都府立菟道高等学校
 京都府立城陽高等学校
 京都府立西城陽高等学校
 京都府立京都八幡高等学校
 京都府立久御山高等学校
 京都府立田辺高等学校
 京都府立亀岡高等学校
 京都府立南丹高等学校
 京都府立須知高等学校
 京都府立綾部高等学校
 京都府立西舞鶴高等学校
 京都府立加悦谷高等学校
 京都府立網野高等学校
 京都府立久美浜高等学校

◆中学校(10校)

大山崎町立大山崎中学校
 木津川市立山城中学校
 井手町立泉ヶ丘中学校
 南丹市立園部中学校◆
 京丹波町立蒲生野中学校◆
 京丹波町立和知中学校
 綾部市立綾部中学校
 舞鶴市立白糸中学校
 宮津市立宮津中学校
 宮津市立栗田中学校

◆特別支援学校(11校)

京都府立盲学校
 京都府立聾学校
 京都府立向日が丘支援学校
 京都府立宇治支援学校
 京都府立城陽支援学校
 京都府立八幡支援学校
 京都府立南山城支援学校
 京都府立丹波支援学校
 京都府立中丹支援学校
 京都府立舞鶴支援学校
 京都府立与謝の海支援学校



※●黄字は平成27年度からの推進校
 ●青字は平成28年度からの推進校
 ●黒字は平成29年度からの推進校
 ●緑字は平成30年度からの推進校
 (◆印の2校は再指定、他は新規指定)
 ●赤字は令和元年度からの推進校



地域スポーツ大会でのボランティア活動 (高校)



パラリンピアンとともに車いすバスケットボール体験 (中学校)



ソフトボール部の交流 (高校・特別支援学校)



卓球バレーボールでの交流 (中学校・特別支援学校高等部)



ボッチャで交流 (小学校・特別支援学校高等部)



パラリンピアンによる講演 (高校)

令和元年度推進校の主な取組

スポーツとのつながり

オリンピック・パラリンピックの学びから

- ・オリンピック・パラリンピックの歴史等について、スポーツ庁「オリンピック・パラリンピックに関する指導参考映像資料」DVDを活用
- ・プレゼンテーションや新聞作成等に向けた調べ学習等を実施。オリンピック・パラリンピックの価値や東京2020大会で実施される競技等を学び、機運を醸成
- ・児童生徒のパラリンピックに対する興味・関心の高まりを図るため、IPC公認教材「I'mPOSSIBLE」等を効果的に活用
- ・学習のまとめをポスター作成して、児童朝礼等で発表。

【推進校】古川小学校、寺田小学校、薪小学校、相楽小学校、上粕小学校、井手小学校、多賀小学校、山城中学校、泉ヶ丘中学校、園部中学校、蒲生野中学校、鳥羽高校、北嵯峨高校、北桑田高校、東稜高校



オリンピック・パラリンピアン(=トップアスリート)等との出会い



- ・「さあやってみようというスポーツごころを育成」、「自己肯定感を醸成」すること等がねらい。
- ・児童生徒を通じた家庭でのリバースエデュケーション効果も期待。

《トップアスリートの金言》 生徒の感想文等より

「限界は全力でやり続けた先にある」(大村加奈子氏)、「スポーツには目に見えない奥深さがある」(安井一彦氏)、「努力をすれば、その分努力したことが自分に返ってくる」(佐藤光浩氏)、「障がいとは人が作り出すものであり、同時に人がなくすることができるものである」(根木慎志氏)、「迷ったら直感を信じて、いろんな事にチャレンジする」(佐野優子氏)、「努力をしても報われるとは限らない」(齋藤里香氏)、「自分がしたいと思ったことが見つければ、人生は良くなる、変わる」「あきらめない強い気持ちが人生の生き方を変える」(寒川進氏)

【推進校】久津川小学校、寺田小学校、青谷小学校、薪小学校、相楽小学校、木津川台小学校、井手小学校、多賀小学校、大山崎中学校、山城中学校、泉ヶ丘中学校、園部中学校、綾部中学校、白糸中学校、宮津中学校、栗田中学校、洛北高校、鳥羽高校、北嵯峨高校、北桑田高校、桃山高校、洛水高校、乙訓高校、西乙訓高校、城陽高校、西城陽高校、久御山高校、田辺高校、亀岡高校、綾部高校、久美浜高校

特別支援学校におけるスポーツへの誘い・自己肯定感の醸成



- ・特別支援学校生の地域との関わりによる、生涯にわたる豊かなスポーツライフへの広がり
- ・パラスポーツ等(フロアカーリング、フットベースボール等)に触れる機会や競技力を高める機会を創出。
- ・地域の大学とのスポーツ交流を通して、自己肯定感を醸成。
- ・各種障害者スポーツ大会への出場や地域のスポーツ交流会に参加。
- ・特別支援学校生が地域の小学校でフロアバレーボールやボッチャ等のスポーツ指導を実施。

【推進校】盲学校、聾学校、向日が丘支援学校、宇治支援学校、城陽支援学校、八幡支援学校、南山城支援学校、丹波支援学校、中丹支援学校、舞鶴支援学校、与謝の海支援学校

特別支援学校ボッチャ交流大会

特別支援学校の中等部・高等部の生徒を中心に、第4回ボッチャ交流大会を開催。5校15チームが参加。「ボッチャ」を通して、他校生徒と交流することにより、普段以上に他人と積極的に関わって、応援する姿がみられた。

【推進校】南山城支援学校、向日が丘支援学校、宇治支援学校、八幡支援学校、丹波支援学校



共生社会へのつながり



パラリンピック種目等の多様な競技に触れる

- ・小学校、中学校、高校において、パラリンピック種目をはじめとしたアダプテッド・スポーツ等、障がいの有無等にかかわらず、誰もが共に楽しめる多様な競技に挑戦。
- ・多様な競技に触れることで、「スポーツやパラリンピック・パラスポーツ等への興味・関心の向上」、「共生社会の在り方についての創造」等がねらい。

〔主な体験競技〕

車いすバスケットボール、ゴールボール、シッティングバレーボール、卓球バレー、ドッチビー、フライングディスク（アキュラシー）、ブラインドサッカー、ペタンク、ボッチャ、車いすハンドボール

【推進校】 木津川台小学校、上狛小学校、井手小学校、多賀小学校、山城中学校、洛北高校、鳥羽高校、桃山高校、西乙訓高校、京都八幡高校、加悦谷高校、網野高校



小中高生と特別支援学校生とのスポーツ交流

- ・中学生・高校生と特別支援学校中・高等部生で交流。
- ・各校種間、年代の異なる交流を実施。
- ・パラリンピック種目であるボッチャ、卓球のほか、フロアバレーボール、サッカー、ソフトボール、フライングディスク（アキュラシー）、ドッチビー、卓球バレー等、様々な種目で交流。
- ・部活動交流でも、これまでの交流をきっかけにより多くの部活動で交流がみられた。

【推進校】 井手小学校、菟道高校、京都八幡高校、綾部高校、西舞鶴高校、加悦谷高校、盲学校、聾学校、宇治支援学校、八幡支援学校、南山城支援学校、丹波支援学校、中丹支援学校、舞鶴支援学校、与謝の海支援学校



世代を越えたスポーツ交流

- ・各種のスポーツ大会において、ボランティア活動に参加し、スポーツを通じたインクルーシブ社会への意識を高めて、スポーツに対する興味・関心を向上。
- ・高校生が、高齢者や保育園児、小学生、中学生、その保護者等に、「体操教室」を実施。幅広い世代が一堂に会し、スポーツによる地域創生を推進。
- ・高校生が、地域の小学校を訪問してスポーツ指導。教える立場となり自分の持つ知識や思いを伝えることで、スポーツの楽しさや運動への興味・関心を高めた。

【推進校】 南丹高校、須知高校、網野高校



府立学校交流ソフトボール大会

これまでの各校間の交流をきっかけに高校3校、特別支援学校3校が集まり、交流ソフトボール大会を開催。高校・特別支援学校合同チーム同士での対戦やホームラン競争を楽しんだ。

【推進校】 北嵯峨高校、菟道高校、京都八幡高校、聾学校、宇治支援学校、八幡支援学校



スポーツへの関心向上・スポーツボランティアへの参画 ~体育系設置高校を中心に~



アスリート等による講演や実技指導

- ・体育系設置高校では、競技への関心を高め、競技力の向上を図るとともに、スポーツを通してグローバルな活躍ができる人材を育成すること等をねらいとして、トップアスリートによる講演や実技指導を実施。
- ・体育系設置校6校が一堂に会した講演会では、平松祐司氏を講師に招き、オリンピックの価値について考えた。

【推進校】 洛北高校、鳥羽高校、乙訓高校、西城陽高校、久御山高校、綾部高校



スポーツを「支える」視点からのスポーツとの「出会い」

- ・地域のスポーツ大会にボランティアとして参画。生徒の「する、みる、支える」の視点から、何らかの形でスポーツへの興味や関心を高めることによる、スポーツライフの充実への醸成に繋がった。
- ・日本オリンピック委員会マーケティング担当者を招き講演を実施。スポーツが個人や社会にもたらす効果について考えた。
- ・高校生が、地域の小学校でスポーツ指導を行うとともに運動会の運営をサポート。スポーツを「支える」価値や意義を体験を通して考えた。

【推進校】 久御山高校、綾部高校



国際交流・異文化等とのつながり



国際交流や相互の文化とのふれあい

- ・「より良い国際交流、文化発信、ホスピタリティの在り方について考えること」等がねらい。
- ・中学生が、海外の異文化の地における生活様式等について知り、世界の人々の様々な歴史や文化について学ぶ。
- ・高校生が自校とその周辺について、日本語・英語のガイドマップを作成。留学生等をガイド。
- ・留学生や海外高校生との交流から、異文化を尊重し受容することの大切を体験的に学ぶ。
- ・スポーツ、文化、和食調理、観光案内等、多様な交流。

【推進校】 泉ヶ丘中学校、和知中学校、鴨沂高校、西乙訓高校



ホストタウンの中高生の学び

- ・「他国の挨拶やマナー等を知ることにより、異文化を理解し、日本文化として誇れるおもてなしの心等を学ぶこと」等がねらい。
- ・相手国の生徒とスポーツ等により交流。
- ・高校生が地域の小学生、中学生、保護者にホストタウン関係競技を指導。ホストタウンとしての機運を醸成。
- ・「グローバルマナーとおもてなしの心」をテーマとした講演を実施。
- ・地域のスポーツ大会の運営や地域清掃のボランティア活動に参画。

【推進校】 蒲生野中学校、和知中学校、須知高校

京都の伝統や文化の発信

オリンピック・パラリンピック讃歌

現代短歌の創作を通じた、京都ならではのスポーツと文化の融合



オリンピック・パラリンピックはスポーツの祭典であるとともに文化の祭典でもある。2020年に開催される東京大会の成功に向けた気運を醸成し、京都から、スポーツと文化を融合させた取組を全国に発信するため、昨年に引き続き、スポーツを「する」「観る」「支える」の観点から表現した短歌を広く京都府内の高校・特別支援学校（高等部）の生徒から募集した。

今年度は、3,795名、6,767首の応募があり、細胞生物学研究者で、京都大学特任教授でもある、歌人の永田紅氏に選考していただいた。

令和元年度 京都府高校生短歌コンクール ～ オリンピック・パラリンピック讃歌 ～ 入賞作品

最優秀賞（一首）

おかしいなライバルだったはずなのに君のことを応援している 京都府立洛北高等学校 宮崎 夏穂

優秀賞（五首）

泣きじゃくるチームはげますその笑顔君が一番悔しいのにな
何度でも汚していいよと母は言う母の手洗い洗濯機越え
「おつかれ!」と疲れたからだに染みわたる友の特製はちみつレモン
勝ち負けは関係ないと言う君が初めて泣いた思い出の試合
暑き日もコートを走るプレーヤーTシャツの色深くなりつつ

京都府立南丹高等学校 杉島 梨夏
京都西山高等学校 田村 香晴
京都府立峰山高等学校 古鞘 歩花
京都府立南陽高等学校 松村 十騎
京都府立久御山高等学校 森 琴葉

佳作（十四首）

オリンピックテレビの前で見る親子子どもは大人に大人は子どもに
「大丈夫」「絶対いけるよ」「落ち着いて」そんな言葉はあなたにいら
な
がんばれと音に気持ちのせながら見守る試合こころ静まれ
ラケットを振る君の目がかっこよく君に追われるボールになりたい
その選手をくわしく知ってはなけれど応援したい画面越しでも
10番が君の背中であつて僕は泣いてる君も泣いてる
僕は無理そうあきらめたはずなのに気づけばそこは夜のコート
ラスト走る見たこともない輝く君に私は何故か応援をやめた
また行くの?週末ずっと野球だね。がんばってるね勝るといいね。
気がつけば逆三角の君の背は大海原の夏の陽の色
皆の声聞こえないけど届いてる最後のひとかき思いよ届け
不器用な手づくりお守りよこんで付けてくれる絶対勝てる
君のため知った競技の検索履歴もって君を応援したい
野球部の外から聞こえるかけ声につられて私もドラムを叩く

京都府立北桑田高等学校 石田 聖治
京都府立南陽高等学校 岡西 夏那
京都府立峰山高等学校 奥田 夏子
京都西山高等学校 鎌田 里菜
京都府立峰山高等学校 川口 航平
京都府立洛北高等学校 阪口 歩
京都府立南陽高等学校 仲 あやか
京都府立南丹高等学校 春木くるみ
京都市立東山総合支援学校 福田 峻平
京都府立嵯峨野高等学校 本田 龍平
京都府立鳥羽高等学校 松本 和
京都西山高等学校 的場 凜
京都府立嵯峨野高等学校 湯浅 初月
京都府立南丹高等学校 吉川優里香

※敬称略(五十音順)

※応募総数 六七六七首 たくさんのご応募ありがとうございました。

講師として招いたトップアスリート、スポーツ指導者等 ※敬称略

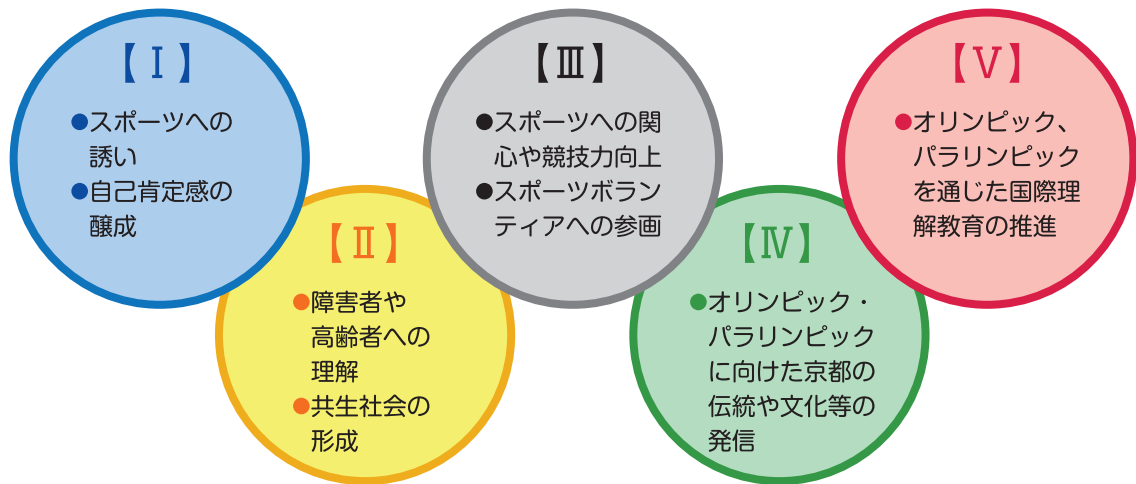
赤倉幸恵（シットイングバレーボール 日本代表）、岩田稔（プロ野球）、伊吹祐輔（日本財団パラサポセンター 推進戦略部プロジェクトリーダー）、上山友裕（アーチェリー パラリンピアン）、江里口匡史（陸上競技 オリンピアン）、江上いずみ（筑波大学 大学院客員教授）、大槻浩二（陸上競技 アジアパラ競技大会日本代表）、大村加奈子（バレーボール オリンピアン）、片岡正教（日本ボッチャ協会理事）、木崎良子（陸上競技 オリンピアン）、木村祐子（帝塚山大学准教授）、久保大樹（水泳・競泳 アジアパラ競技大会日本代表）、小林千紗（水泳・シンクロ オリンピアン）、齋藤里香（ウエイトリフティング オリンピアン）、阪根泰子（車いすバスケットボール パラリンピアン）、坂野晴男（車いすバスケットボール 「KYOTO UPS」 監督）、KYOTO UPS（車いすバスケットボールチーム）、カクテル（車いすバスケットボールチーム）、LAKE SHIGA（車いすバスケットボールチーム）、櫻井杏理（車いすフェンシング 日本代表）、佐藤光浩（陸上競技 オリンピアン）、佐野優子（バレーボール オリンピアン）、寒川進（陸上競技 パラリンピアン）、千田健太（フェンシング オリンピアン）、多川知希（陸上競技 パラリンピアン）、田本博子（ソフトボール オリンピアン）、富田圭造（シットイングバレーボール 日本代表コーチ）、中嶋明子（パラカヌー 日本代表）、西家道代（シットイングバレーボール パラリンピアン）、西山麗（ソフトボール オリンピアン）、根木慎志（車いすバスケットボール パラリンピアン）、比護信子（陸上競技 日本代表）、馬島誠（パラアイススレッジホッケー パラリンピアン）、宮下純一（水泳・競泳 オリンピアン）、森卓也（陸上競技 アジアパラ競技大会日本代表）、安田一彦（車いすフェンシング アジアパラ競技大会日本代表）、山田幸代（ラクロス プロプレーヤー）

京都府における オリンピック・パラリンピック教育の推進

2021

オリンピック・パラリンピック教育の推進において、「スポーツの力」を実感させるとともに、一人一人に豊かな「スポーツどころ」を育み、スポーツ文化の広がりにつなげる。

- 京都府の取組を全国のオリンピック・パラリンピック・ムーブメントへ繋げる。
- 2020年以降のスポーツ文化と共生社会形成のレガシーを目指す。



オリンピック・パラリンピアンとの交流
スポーツへの参画

高校運動部活動生徒等と特別支援学校生や地域の高齢者とのスポーツ交流

体育系設置高校を中心とした専門科目等を通じた関連学習

オリンピック・パラリンピック讃歌によるスポーツと文化の融合

異文化理解、国際交流を通じた「おもてなしの心」の醸成

2020

- ・ 事業概要のまとめ・報告書作成（3月）
- ・ 事後ワークショップ（2月）
- ・ オリンピック・パラリンピック讃歌（6月～募集・2月表彰）
- ・ 推進校教員セミナー・事業開始（6月～）
- ・ 推進校の指定（5月～）
- ・ 推進校の公募（4月～）

2019

スポーツ庁の委託により「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」を実施

2018

スポーツ庁の委託により「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」を実施

2017

スポーツ庁の委託により「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」を実施

2016

筑波大学の委託により「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」を実施

2015

筑波大学の委託により「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント調査研究事業」を実施

公開フォーラムの開催や推進校の取組紹介等で広く府民に発信する等、広報活動を推進